



# ネ

ギの売り上げの一部が地域の社会貢献活動に利用される「さのまる葱プロジェクト」を立ち上げた小宮稔さんは、東京生まれ東京育ち。ご夫婦で楽しんでいたゴルフがきっかけで佐野に移住することになり、たまたま紹介された家が農業用住宅だったことからネギ農家になったという経歴の持ち主です。

「誰かができるなら自分もできる」という信念を持つ小宮さんにとって、未経験の農業への転職に抵抗はありませんでした。

移住者ならではの客観的な視点で、地方農業が抱える過疎化問題などを意識していたことも、プロジェクト立ち上げの原動力になったそう。「JAさん、生産者さん、行政が三位一体となって作り上げたこの企画が成功すれば、ネギだけ

## キラリ話題の人

### 小宮 稔 さん

み～ちゃん農園代表  
佐野農業協同組合佐野ネギ出荷部会  
部会長



## 葱プロジェクト始動！

はななく佐野の農業全体の盛り上げにもつながると思う」と将来を見据えています。収穫から最短5、6時間で店頭に並ぶ新鮮な「さのまる葱」は、上質でありながらも手に取りやすい価格が特徴の一つ。できるだけたくさんの方に手に取ってもらえるよう、値段設定も努力しています。

「社会福祉に貢献したいと思っても、募金をしたりボランティアをしたりするのはハードルが高いかもしれない。そういった人たちの善意を形に表せるのが、さのまる葱なんです。このプロジェクトが地元で実績を積んだら、いずれは全国へ発信したい」と、部会長としての今後の展望を話してくださいました。

(市民記者 小林春美)



ようこそ

## 市長室からこんにちは！

市民の皆さまとの協働によるまちづくりを進め、人と人が支え合う地域づくりを推進するため、意見交換の場として、毎年、市政懇談会を開催しています。市内を5地区に分けてさせていただきます。今後の市政の展望についての説明や、まちづくりについての意見交換などを行っています。若い世代の皆さまの参加率が少ないということが、課題となっていました。

高校生などを含めた、若い世代の方たちと意見交換できる場を作り、まちづくりに反映させていきたいと思っております。

佐野市長  
金子 裕



そうした中で、一月に初めて、佐野日本大学短期大学の2年生を対象とした、市政懇談会を実施いたしました。短大には本市出身の方ももちろんいらっしゃいますが、多くは、他市から引越してきた方です。そうした、若い世代の方から見る佐野市のイメージや印象をお聞きしながら、本市の今後について意見交換を行いました。非常に勉強になりました。

3月といえば、日本最多の名字「佐藤」。姓は「佐野の藤原秀郷」に由来するという説が有力であることから、3月10日を「佐藤の日」とし、今年は初めて市内で「佐藤さん」が集まるイベントを開催します。佐藤さん以外にも入会できる「佐藤の会」の会員を随時募集中です。佐藤の会」公式ホームページをご覧ください。

20年後、30年後を見据えたまちづくりをしていく中で、若い世代の方の意見というものは大変重要です。来年度以降も

今日は年度の締めくくりであり、卒業のシーズンです。11日には中学校、15日には小学校の卒業式が行われます。学び舎や職場など、いろいろな卒業があります。卒業される皆さんの新たな門出をお祝いするとともに、更なるご活躍を期待しています。



▲佐藤の会  
公式ホームページ

高校生プロジェクト「sanoteens」

**興味のある高校生！ この指とまれ！**

佐野市の魅力発信やイベントを企画している高校生の活動チームをご存じですか？ その名は「sanoteens (サノティーンズ)」。市内在住や市内に通う高校生をメンバーとし、自主的に参加しているプロジェクトチームです。

発足4年を迎え、今年度は25人の生徒が参加をしています。月に1～2回集まり、現在は高校生をターゲットに3月23日(土)に開催されるイベント「さのふえす！ 2024」の企画運営に向けて話し合いを進めており、Instagramに会議内容を投稿しています。

今までに、佐野駅前イルミネーション、さのまるの家外壁レイアウト、本広報紙の表紙ロゴなどを手掛けてきました。メンバーからは「企画の話し合いを重ね、皆さんの目に留まる形となり、生活に携わられている実感を得られた時はやりがいを感じます」「市内に住んでいるのに、まだまだ知らないことが多く発見できます」「今まで持っていた佐野市のイメージが大きく変わりました」と自分たちで佐野市の魅力を発信しながら、新しい発見ができることも sanoteens の魅力です。

現在、sanoteens ではメンバーを募集しています。高校生の皆さん、sanoteens の一員として佐野市の魅力を発信してみませんか？ さまざまな意見を取り入れたいので、男性のメンバーも大歓迎です。

(市民記者 飯田瞬)



sanoteens の活動の様子は Instagram から



おいしい〜♪



栃木県はいちご生産日本一！

**いちごの生食提供をいただきました**

子どもたちにいちごのおいしさを知ってもらい、たくさん食べてもらうために、JA 佐野から「生のいちご」を無償でご提供いただきました。

今回頂いた「いちご」は新鮮な「とちあいか」で、佐野市の全市立学校の児童生徒などに対して1人2粒ずつ提供され、学校給食のデザートや、家庭科の食材、学校のイベントなどで子どもたちにおいしく味わっていただきました。

おいしいいちごのご提供をありがとうございました。



昭和26年から続く

**第74回大澤駅伝競走大会**

2月4日(日)、清酒開華スタジアム(佐野市運動公園陸上競技場)周辺において大澤駅伝競走大会が開催されました。

高校男子の部では船橋市立船橋高等学校が、一般・高校女子(21.0975 km)では長野県立長野高等学校が、一般男子(42.195 km)ではミレニアムベイビーズが、一般男子(21.0975 km)では富士山の銘水が優勝をつかみ取りました。

参加いただいた選手・関係者の皆さん、沿道で応援いただいた皆さん、お疲れさまでした。

また、交通規制にご協力いただき、ありがとうございました。